

オンコロジーセンターホームページ作成

研究分担者 細谷 要介 聖路加国際病院 小児科

研究要旨

外来化学療法中の患者支援体制の整備のひとつとして、オンコロジーセンター（外来化学療法室）ホームページの作成を検討した。現在、他病院やその他インターネットサイトにおいて、化学療法、予想される副作用、症状への対処方法などの解説集や、FAQ（よくある質問）集は多く存在するが、当院では、インターネットサイトを通じた情報提供がまだ不十分であると考えられた。治療前にパンフレット等を用いて説明するだけでなく、パンフレットをインターネット上でも閲覧可能とし、予想される症状とそれに対する対処法をホームページに提示して検索可能とすることで、電話相談をせず自己管理ができる可能性がある。また、インターネットサイトからの質問を受け付けることで、患者に安心感を提供することが可能である。

A. 研究目的

外来化学療法では離院後何らかの問題が生じた場合、患者は自ら症状を判断して行動することが求められる。そのため、医療機関側は患者の自己管理を支援する仕組みを構築する必要がある。しかし、当院の現状では、各診療科や担当医師により患者対応や患者教育内容も統一されておらず、がん患者向けのパンフレットは作成され病院ホームページからも閲覧可能ではあるが見つけにくく、患者の自己管理支援体制は十分に確立しているとは言えない。そこで、聖路加国際病院において外来通院で抗がん剤治療を行う患者に対する情報提供の場として、オンコロジーセンターホームページを作成する。

B. 研究方法

聖路加国際病院のホームページに附随して、

オンコロジーセンターホームページを作成する。化学療法、予想される副作用、症状への対処方法などの解説集や、FAQ（よくある質問）集を作成するとともに、外来化学療法施行中の患者専用の問い合わせフォームを作成し、常にオンコロジーセンタースタッフへの連絡や質問が可能な状態を整備する。

<倫理面への配慮>

個人情報に配慮する。問い合わせページへのアクセスはIDとパスワード管理を行い、当院かかりつけ患者限定とする。

C. 研究結果、進捗状況

ホームページの構成案は下記のとおりとする。

ホームページ構成案

オンコロジーセンターHOME

オンコロジーセンターの紹介

各部署の紹介

- (1) 診療科
- (2) 薬剤部
- (3) 看護部（がん専門看護師）

外来化学療法について

- ・主なレジメンの説明

- (1) 腫瘍内科
- (2) 乳腺外科
- (3) 血液腫瘍科
- (4) 呼吸器内科
- (5) 消化器内科/消化器外科

化学療法中の副作用対策

- ・主な副作用について説明
- ・副作用に対する対処方法

FAQ（よくある質問）

・相談件数の多い内容に関して、対処方法を記載する

・病院への連絡が必要な状況、受診が必要な状況の判断ツールを作成する

外来化学療法中の患者さんからの質問フォーム

・診察券 ID が必要な専用ページとして運用

- ・氏名、診療科、担当を入力
- ・緊急度と相談内容を入力

・担当者が1日1-2回内容を確認して返信
 このような内容で、作成中のページの案を最後に掲載する。

D. 考察

当院で外来化学療法を受けている患者からの電話相談の内容に関する後方視的検討から、相談内容は、症状相談（症状の原因の解明や対処法に対する指示を求める内容）、受診相談（受診行動の必要性の判断を求める内容）、内服相談（特に市販薬内服の可否に関する内容が多い）が多い結果が明らかとなり、外来化学療法中の患者は症状に対する自己管理の

ための知識や情報が不十分であり、判断が困難な状況が生まれていると考えられた。現在、他病院やその他インターネットサイトにおいて、症状への対応方法やFAQ集は多く存在するが、当院からの情報発信が必要であると考えられた。

また、外来化学療法実施中の患者に対して行った聖路加国際病院における外来化学療法の支援体制に関するアンケート調査からは、離院後に判断に迷う状況に遭遇した際、電話やメール医療従事者に直接相談をしない場合には、他院（国立がん研究センターなど）のがん情報ページ以外に個人の患者ブログを参考にして判断をしている状況が多く存在していることが明らかとなった。個人のブログでは必ずしも正しい情報が記載されているとは限らず、個人の経験のみが提示されていることもあるため、誤った判断を導く可能性も否定できない。確実な情報源を提示する必要性があると考えられた。

発生しうる副作用と対処法について患者・家族にあらかじめ教育しておくだけでなく、ダウンロード可能なパンフレットやインターネット上でも常時閲覧可能とし、繰り返し確認していくことができるようにすること、予想される症状とそれに対する対処法をホームページに提示して検索可能とすることで、電話相談をせず自己管理ができる可能性がある。さらに、個人ブログなどの偏った情報に基づいた誤った判断により危険な状態に陥る可能性を回避できると考えられる。

また、電話では連絡が取りづらい状況もある雨、インターネットサイトからの質問を受け付けることで、医療従事者とのアクセスがいつでも可能な環境を提供することになり、患者に安心感を与えると考えられる。

ホームページによる分かりやすい情報提供と

アクセス可能な環境の提示は、安全に外来化学療法を行う上で、有効な手段と考えられる。

F. 知的財産権の出願・登録状況
該当なし

E. 研究発表

1) 国内

1. 論文発表

石田也寸志，渡辺静，小澤美和，米川聡子，小川千登世，長谷川大輔，細谷要介，吉原宏樹，真部淳，森本克，西村昂三，細谷亮太．
小児がん経験者の晩期合併症の予測は可能かー聖路加国際病院小児科の経験ー．日本小児血液・がん学会雑誌 49: 31-39, 2012.

2. 学会発表

1. 細谷要介，辻本信一，真部淳，他．VDC/I CE療法及び放射線照射を行った腎悪性ラブroid腫瘍（MRTK）の一例．第54回日本小児血液・がん学会学術集会，2012
2. 細谷要介，真部淳，橋井佳子，杉山治夫，他．リスク神経芽腫に対するWT1ペプチドワクチン投与の経験．第54回日本小児血液・がん学会学術集会，2012

2) 海外

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

該当なし

HOME

聖路加国際病院オンコロジーセンター(外来化学療法室)のホームページをご覧ください、ありがとうございます!



このホームページでは、外来化学療法を行っている患者さんに有用な情報を発信していきたいと考えています。特に、当院のオンコロジーセンターで治療中の患者さんは、ここからオンコロジーセンターのスタッフに連絡を取ることが可能となっていますので、ご活用ください。

外来化学療法

以前は、がんに対する化学療法(抗がん剤によるがん治療)は入院して行うことが一般的でした。しかし、新しい有効な抗がん剤の開発や副作用対策の進歩などの医療の進歩によって、外来でも安全に化学療法を受けることができるようになってきました。患者さんは、入院をしないで通院でがん治療を行うことにより、お仕事や自宅での生活を維持しながらがん治療に取り込むことが可能となります。

[詳細ページ](#)

オンコロジーセンター



患者さんの生活を重視

聖路加国際病院では、1999年4月に外来点滴センターを開設し、2008年4月、オンコロジーセンター(外来化学療法室)としてリニューアルしました(写真)。患者さんの生活の質(QOL)を重視する観点から、オンコロジーセンターにて外来化学療法を積極的に行っています。



治療中もリラックスできる環境を整えています

オンコロジーセンターには、リクライニングチェア(39床)が用意されており(写真)、リラックスできる環境の中で治療が受けられるように配慮がなされています。テレビ、読書や飲食もできるなど、治療の間、少しでも快適に時間を過ごせるように配慮されています。主な設備は、下記のとおりです。



専門的な知識を持ったスタッフ

多くの診療科の様々な疾患の患者さんがオンコロジーセンターを利用して、外来通院にてがん化学療法を受けています。各診療科と密接に連携し、腫瘍内科の専任医師、がん化学療法看護認定看護師1名を含む専任看護師10名とがん専門薬剤師2名、がん薬物療法認定薬剤師1名を含む薬剤師12名(勤務は3名ずつシフト制)により運営されています(スタッフ写真)。

外来化学療法



化学療法(抗がん剤)の実施件数を図1に示します、2011年度では13,346件でした。毎月延べ1,000人以上の患者さんに外来で抗がん剤治療を行っていることとなります(図2)。

[詳細ページ](#)

治療の流れ

オンコロジーセンターでの治療の流れは以下のとおりです。各科外来主治医とご相談の上、ご利用ください。予約制となっています。

1) 採血

採血がある場合には、オンコロジーセンターで、採血検査を受けて下さい。点滴のためのルートを開通に準備します。

2) 問診

オンコロジーセンター、または、各科の外来で、看護師の問診を受けていただきます。体調がすぐれない(風邪をひいている、治療による影響が続いているなど)場合は、診察前に各科外来看護師にお知らせください。

3) 診察

採血結果が届いたのち、各科外来で主治医の診察を受けていただきます。体調や検査の結果で、本日の治療をするかどうかの判断をします。

4) オンコロジーセンターで治療

安全な治療実施のため、お名前・生年月日を言ってお知らせいただき、点滴内容を確認させていただきます。

Oncology Center HOME

各部署の紹介

診療科

- ▶腫瘍内科
- ▶血液腫瘍科

薬剤部

看護部

外来化学療法について

腫瘍内科

血液腫瘍科

科学療法中の副作用対策

主な副作用について説明

F&Q

よくある質問

お問合せ

外来化学療法中の患者さん用
お問い合わせメール
oncology@seirika.ne.jp

03-5550-7120

予約センター-混雑状況

当院で受診を希望される方は、
【事前予約】が必要です
平日 8:30~17:00

03-5550-7105

がんに関するご相談

どなたでもご利用になれます。
料金はかかりません。
平日 8:30~17:00

交通アクセス



〒104-8560
東京都中央区明石町9-1

東京メトロ日比谷線地下車
3、4番出口から徒歩7分
東京メトロ有楽町線新富町地下車
6番出口から徒歩8分



聖路加国際病院WEBサイト

このページのトップへ戻る